

令和5年9月21日

福津市議会

議長 高山 賢二 様

決算審査特別委員会

委員長 中村 清隆

## 決算審査特別委員会審査報告書

令和5年第5回福津市議会定例会において、本委員会に付託を受けておりました案件についての審査結果を、会議規則第110条の規定により報告いたします。

### 記

#### 1. 事件名

- ◎ 認定第1号 令和4年度福津市一般会計決算の認定について
- ◎ 認定第2号 令和4年度福津市国民健康保険事業特別会計決算の認定について
- ◎ 認定第3号 令和4年度福津市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について
- ◎ 認定第4号 令和4年度福津市介護保険事業特別会計決算の認定について
- ◎ 認定第5号 令和4年度福津市公共下水道事業会計決算の認定について

#### 2. 審査経過

- ◎ 付託年月日 令和5年8月29日
- ◎ 審査年月日 令和5年8月29日・9月12日・15日・19日

以上5議案は、全員の議員をもって構成した特別委員会で慎重に審査したため、詳細については省略。

#### 3. 主な意見並びに審査結果

◎認定第1号 令和4年度福津市一般会計決算の認定について

【意見】

(賛成) なし

(反対) 以下の7点から、全体として反対する。1点目は、夕陽館の管理運営経費や大和保育所機能検討委員会に関する経費など、第3次行財政改革大綱推進の決算であること。2点目は、6月補正予算で2校建設予定地の土地調査費が可決後、1校のみに変更され、さらに、福間南小学校等の過密解消策がない事業推進であったこと。3点目は、行政保有の個人情報の保護、住民相談窓口など、様々な課題があるにもかかわらず、国のデジタル化を無条件に推進する方針であること。4点目は、特別会計及び企業会計の独立採算制の原則の確保を掲げて実施した決算であること。負担の大きい国保税の加入者への負担軽減のため、他自治体では一般会計からの法定外繰出しを行って、軽減を進めているところもある。市民の健康を守る国民健康保険制度をより利用しやすくすることが優先と考える。5点目は、コロナ禍で突発的な業務を余儀なくされた市職員に対して、期末手当引き下げを実行した決算であること。6点目は、行政推進の事業が、市民と一緒に考え、意見を聞き、進めるという手順において、極めて不十分であったこと。7点目は、本決算認定に当たり、行政側の決算に対する客観的な評価や今後への教訓が明確でない状況が、少なくない事業で見受けられたこと。

(反対) SDGs 未来都市を目指す本市にとって、全ての子どもたちに公平な教育環境を提供することは、喫緊の課題である。本来ならば、その基本となる小・中学校全体を視野に入れた適正規模・適正配置計画が先に作られ、過密解消をどうするか検討されるべきであった。基本計画の予算が執行されているが、本来ならば学識経験者や地域の方々、学校関係者など第三者の専門的な知見を集めた上で、検討されるべき問題であったと考える。また、新設小学校の建設は、福間南小学校の過密解消には全く影響しないため、この過密解消の整備にも税金が使われるべきであったことから、反対とする。

#### 【審査結果】

本委員会では、賛成多数により認定すべきものと決定した。

#### ◎認定第2号 令和4年度福津市国民健康保険事業特別会計決算の認定について

#### 【意見】

(賛成) なし

(反対) 令和4年度の国保税の税率据え置きは評価するが、高過ぎる国保税というのは変わりが無い。高い国保税の抑制や引き下げに臨むかが、地方自治体に問われている。そもそも、令和4年度の予算編成方針では、受益者負担を原則として加入者間で支え合わなければならないという記述になっていた。国民健康保険法第1条で定められているように、国保制度というの

は、社会保障及び国民保健の向上を目的とし、国民の医療を社会全体で保障する社会保障制度である。どのように行政が支えていくかであって、被加入者同士で支え合うという制度ではない。ここに国保税引き下げの取組がなかなか進まない根拠があるのではないかと考えており、この方針で進められてきた決算なので、認定に反対する。

**【審査結果】**

本委員会では、賛成多数により認定すべきものと決定した。

◎認定第3号 令和4年度福津市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について

**【意見】**

(賛成) なし

(反対) 2008年度からスタートした本制度は、75歳で国保や健保から引き離し、75歳以上だけが加入する独立した保険制度である。保険料、公費及び現役世代からの支援金を入れて運営しているが、高齢者は、収入が少ない一方で、医療費がかさむ状況である。医療費がかかると、歳出が増えるという仕組みになっており、財政的な基盤としても、極めて脆弱な仕組みだと考える。高齢者が様々な病気をし、医療費がかかるのは、加齢を考えると、自然なことであると考えますが、それを年齢で切り離し、囲い込み、医療費の増加が保険料に直接跳ね返るような仕組みの制度設計だと考えており、制度そのものに問題がある。よって、この決算認定について、反対とする。

**【審査結果】**

本委員会では、賛成多数により認定すべきものと決定した。

◎認定第4号 令和4年度福津市介護保険事業特別会計決算の認定について

**【審査結果】**

本委員会では、賛成多数により認定すべきものと決定した。

◎認定第5号 令和4年度福津市公共下水道事業会計決算の認定について

**【審査結果】**

本委員会では、賛成多数により認定すべきものと決定した。